



Data Base service company

『データベースで文化をつなぎ、気持ちをつなぎ、毎日の生活に役に立つ企業へ』

**2014年3月期  
業績予想の修正に関する補足説明資料**

株式会社ソケット

(証券コード3634)

<http://www.sockets.co.jp/>

2014年4月28日

## 1 業績予想の修正 今回の骨子

将来に向けた

データベース事業の強化

収益構造の改善

を目的とした、「**引当金の計上**」と「**ソフトウェアの減損**」を実施。  
その結果、繰延税金資産の取崩しが発生しています。

- これらの対策は、キャッシュフローには影響はありません。
- また自己資本比率は82.9%（3Q期末実績）から74%程度になるものの依然高水準にあります。
- 配当金に関しては、今期以降の見込みも踏まえ、前期同額の継続とします。
- 減損するソフトウェアは、完全に廃棄するものではなく将来に渡り活用します。
- 減損対応は、今後継続的に発生するものではなく、いったん今回で打ち切りとなります。

**現在の課題解決と将来可能性の顕在化を目的とした「清算と創造」が目的**

## 1 業績予想の修正 業績予想のサマリー



当第4四半期連結会計期間において、新規開発案件における引当金の計上、ソフトウェアの減損及び繰延税金資産の取崩しを実施いたします。上記から本年1月30日公表の業績予想を修正いたします。

### ■ 2014年3月期 連結業績予想数値

(単位：百万円)

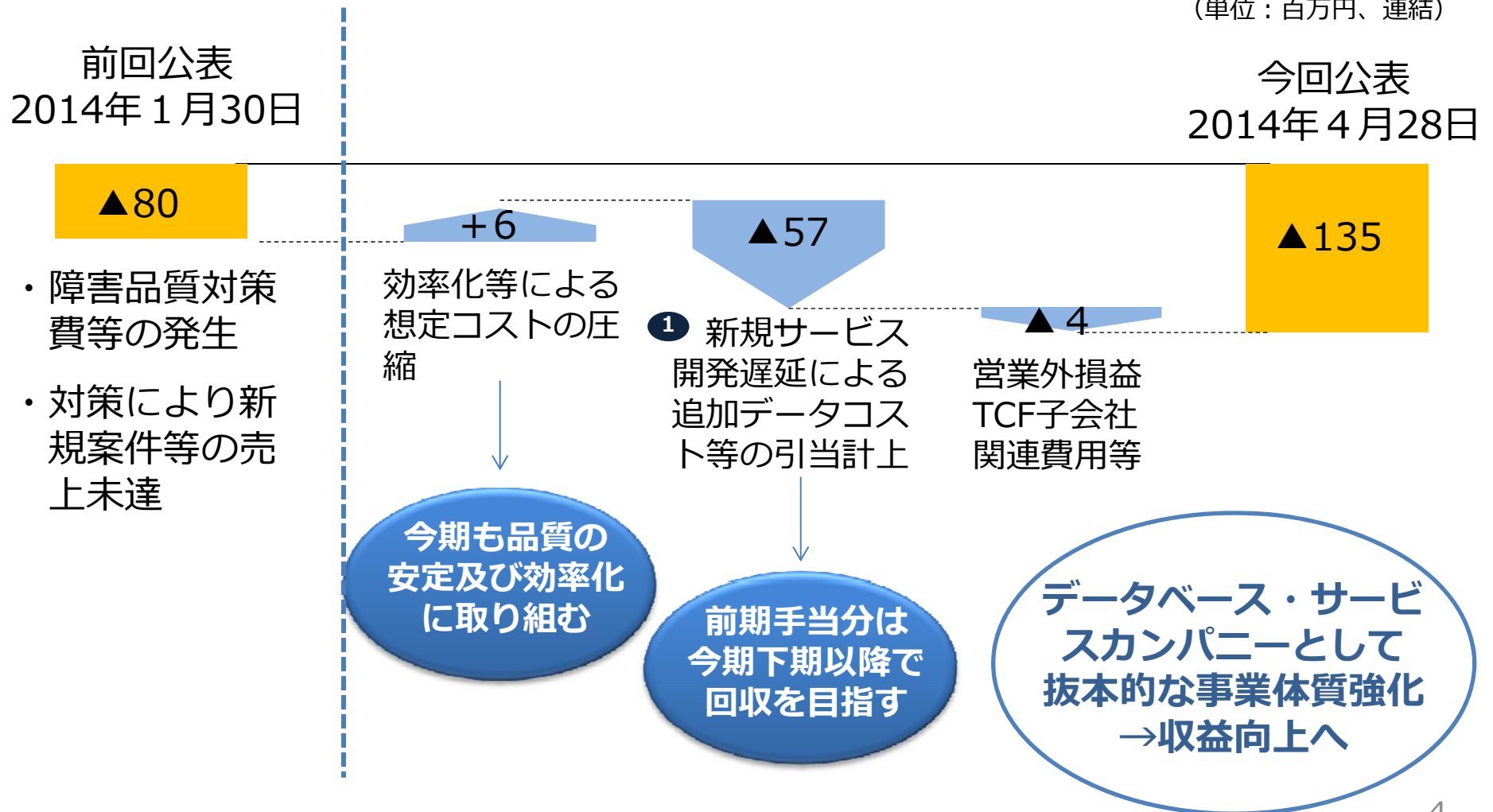
	前回公表 (2014年1月30日)	今回公表 (2014年4月28日)
売上高	2,200	2,197
営業利益	▲80	▲131
経常利益	▲80	▲135
当期純利益	▲215	▲758
1株当たり 連結当期純利益 (円)	▲88.77	▲322.58

※期末配当は、計画通り実施予定です(1株につき5.0円)

# 1 業績予想の修正 経常損失の変動要因

## 前回公表時からの経常損失の変動要因について

(単位：百万円、連結)

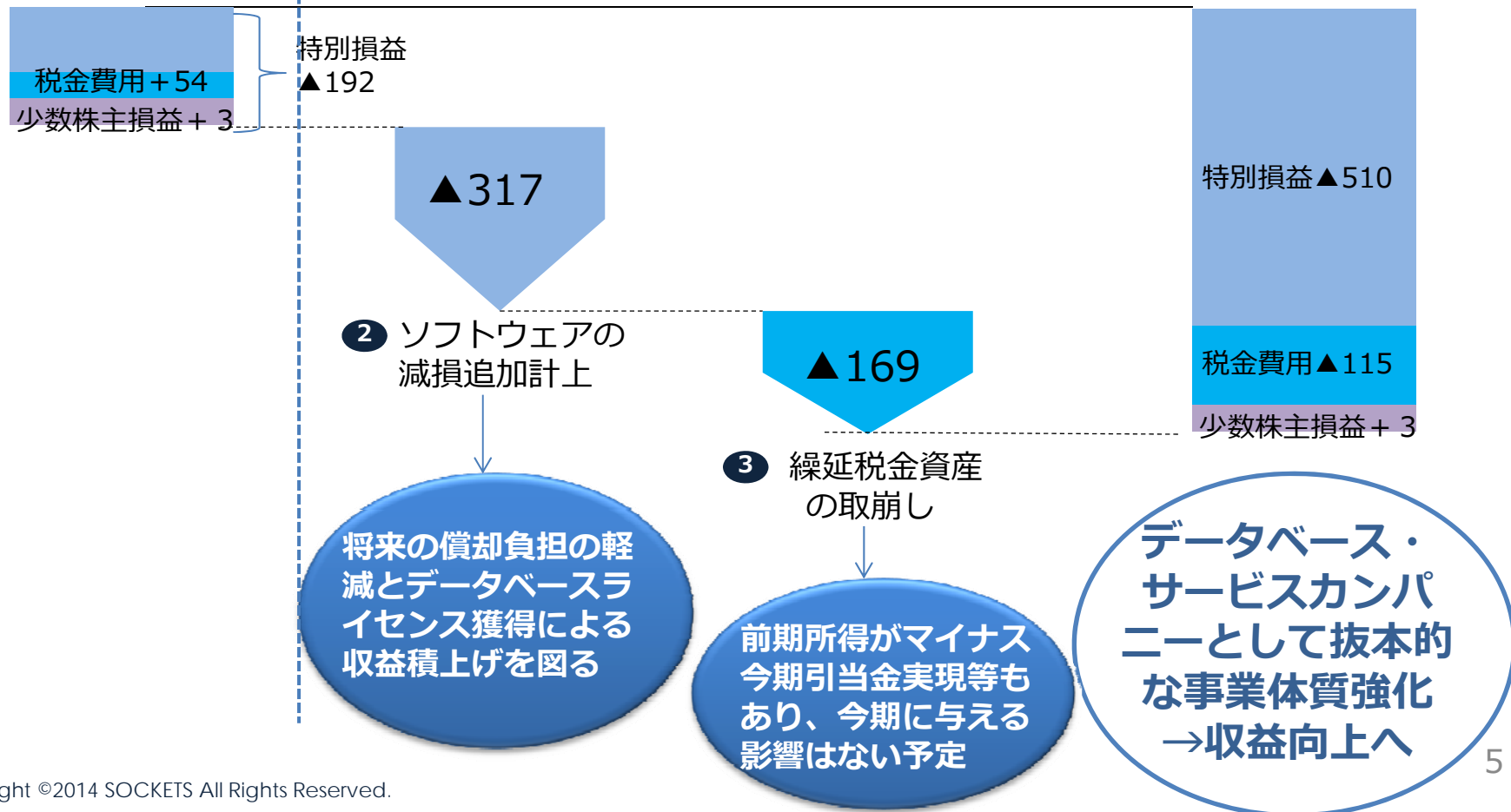


**1 業績予想の修正  
特別損益等の変動要因**

前回公表時からの経常損失より以降の項目変動要因について

(単位：百万円、連結)  
今回公表  
2014年4月28日

前回公表  
2014年1月30日



## 1 業績予想の修正 変動要因の説明

売上高及びコストは、前回公表どおり概ね着地するも、  
今期以降を見据えて追加対策を実施

### 1 「引当金」

#### 新規サービス開発遅延による引当金の計上

仕様変更対応等により一部の開発遅延が発生。サービスイン後のビジネス拡大を考慮し、初期開発時においてデータメンテ等の追加コストを断行し、今期原価発生分を引当金として計上。追加コストは、今期のサービスイン後に回収を目指す。

### 2 「減損」

#### ソフトウェアの減損追加計上

今期足元の業績を踏まえ、回収計画の見直しを実施。将来のデータベース提供先を一段と厳格に見て回収計画を見直し。減損損失の追加を計上。

### 3 「繰延税金資産」

#### 繰延税金資産の取崩し

障害・品質対応コスト及び選択と集中による除却損で課税所得はマイナス。今期追加引当金の税務上のコスト認識もあることから、慎重に検討し、繰延税金資産の取崩しを実施。

なお、上記追加対策についてはキャッシュフローに影響があるものではありません。  
また、当社自己資本比率は2013年12月末時点で82.9%（2014年3月末は、約8ポイント下がる見込み）と財務体質に問題はありません。

## 1 業績予想の修正 今回の追加対策により何が生まれるか

来るべき勝負のときに備え、ライトタイム・  
ライトポジションで戦うための準備

### 1 データベース事業の強化

今後KDDI及びCCCを始めとする主要ビジネスパートナーとのビジネス拡大の可能性を最大化するために必要な、当社データベースの量と質を強化。

効果

売上増

### 2 収益構造

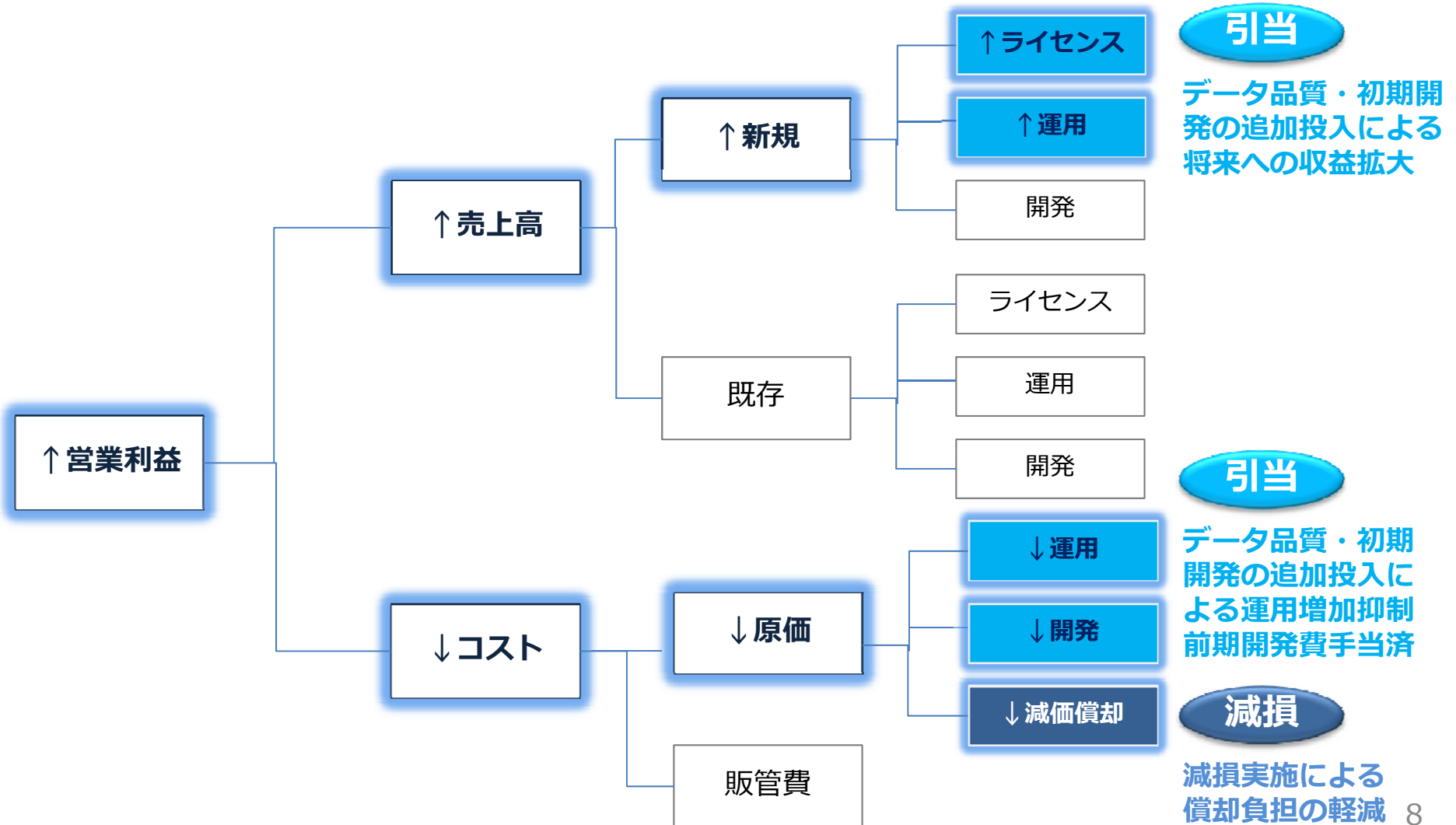
引当金計上に伴い開発体制の見直しを実施。また追加減損対応の結果として、将来の減価償却費の低減につながり、中期的に攻めの経営姿勢が取れる収益構造に。

効果

コスト減

# 1 業績予想の修正 今回の追加対策で生まれる効果

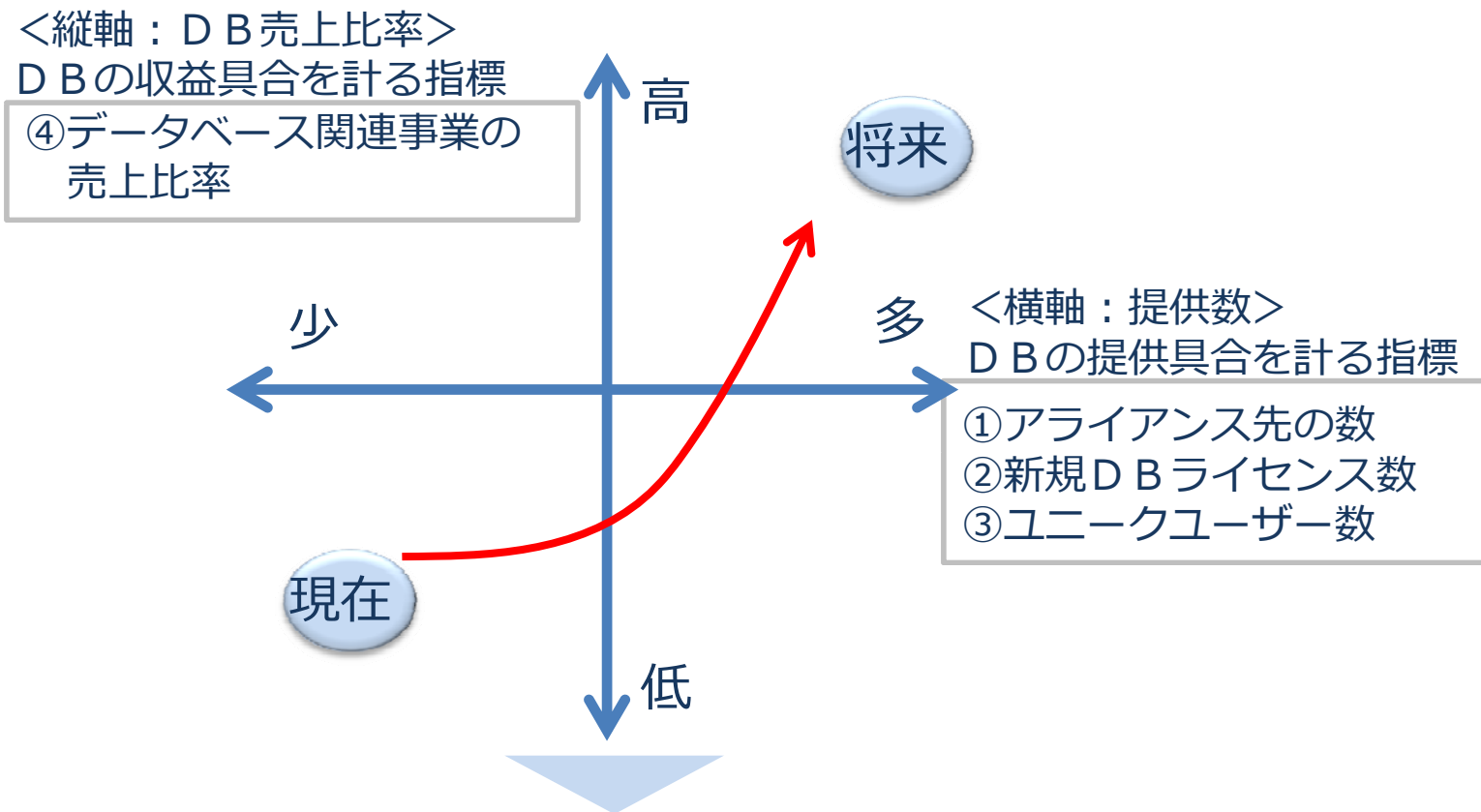
引当金、減損の追加対策を実施し、将来の成長を目指す





② 今期以降の計画について  
抑えておきたい指標について

BS、PL、CFに現れない重要な指標は、当社グループの源泉となるデータベースが使われているかどうか



**事業進捗としては、①～④の指標を管理して行きます**

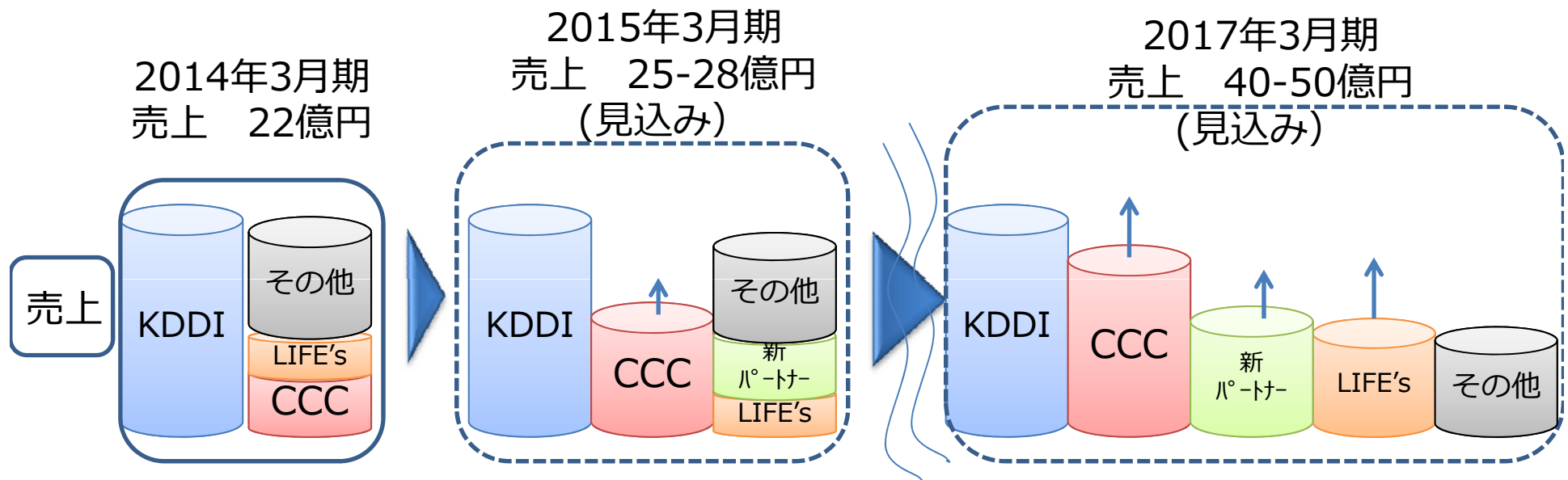
## ② 今期以降の計画について トップラインの獲得とビジネスモデルシフト

- ① KDDIビジネス再構築
- ② CCCビジネスの拡大
- ③ 2社に次ぐ第3の柱となるビジネスパートナーとの提携
- ④ LIFE's関連事業の収益化



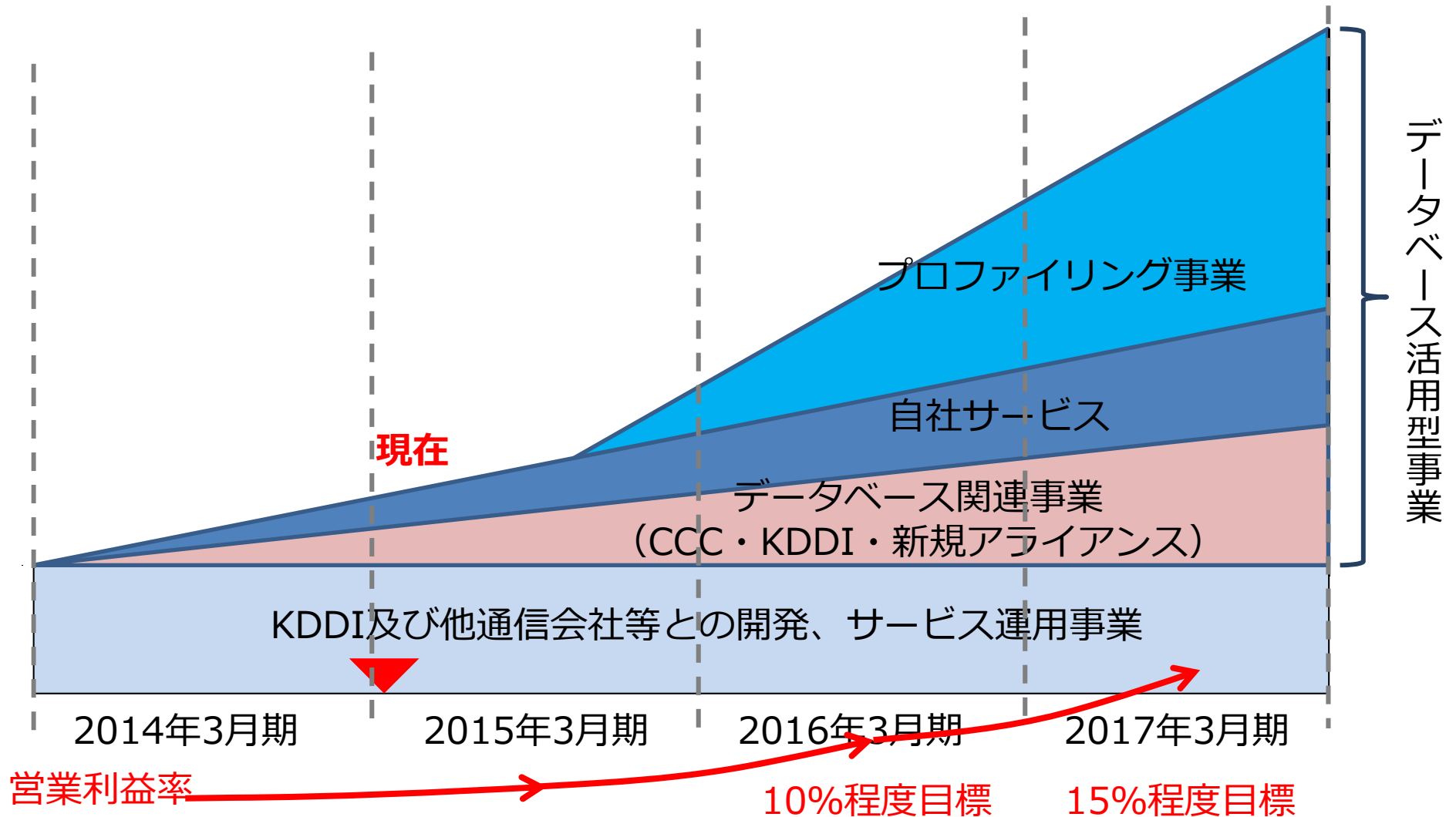
ビジネスモデルのシフト（データベース利用売上の増加）による収益改善

### <売上成長イメージ>



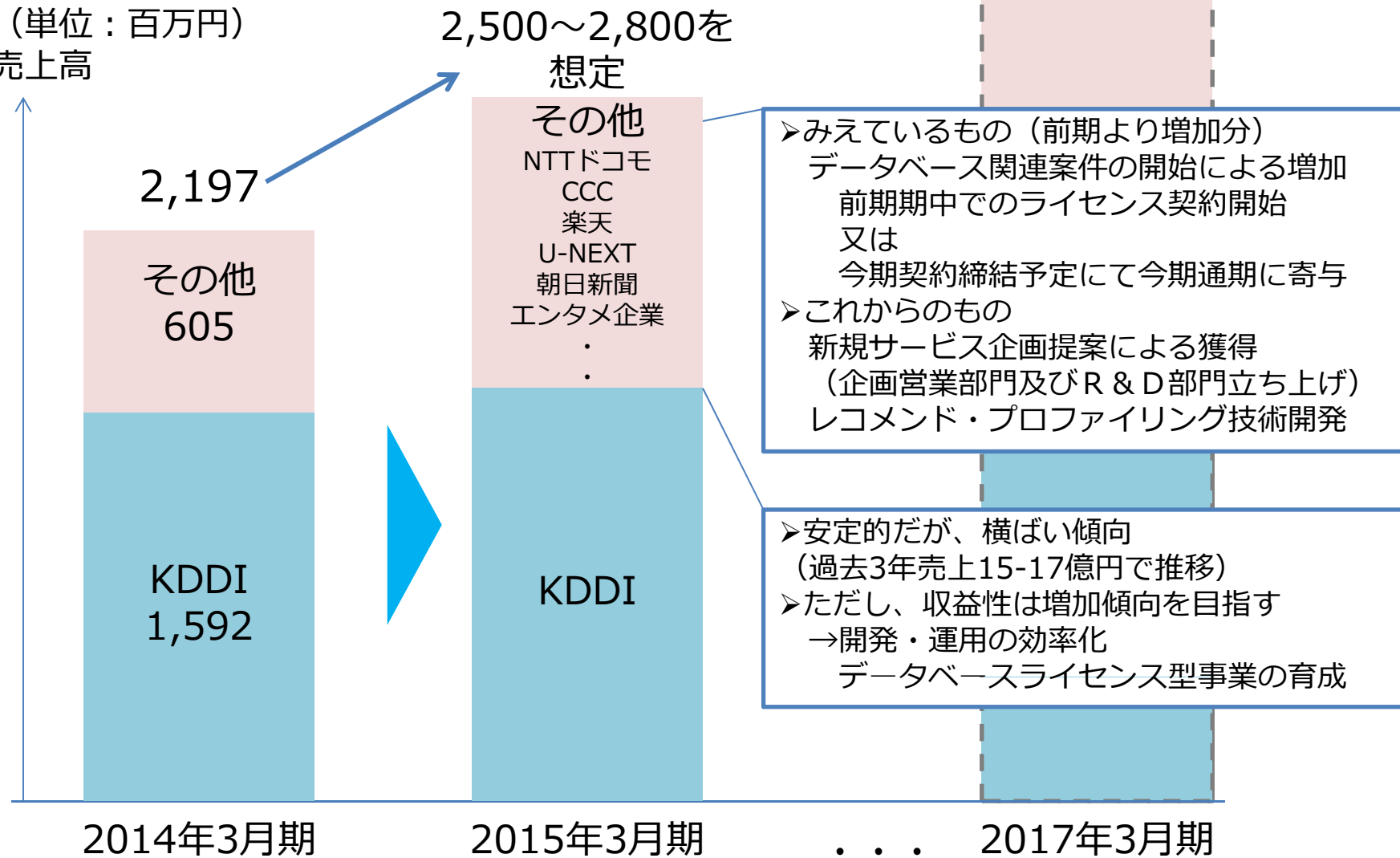
② 今期以降の計画について  
中期的な売上高構成

3カ年の売上高の構成イメージ

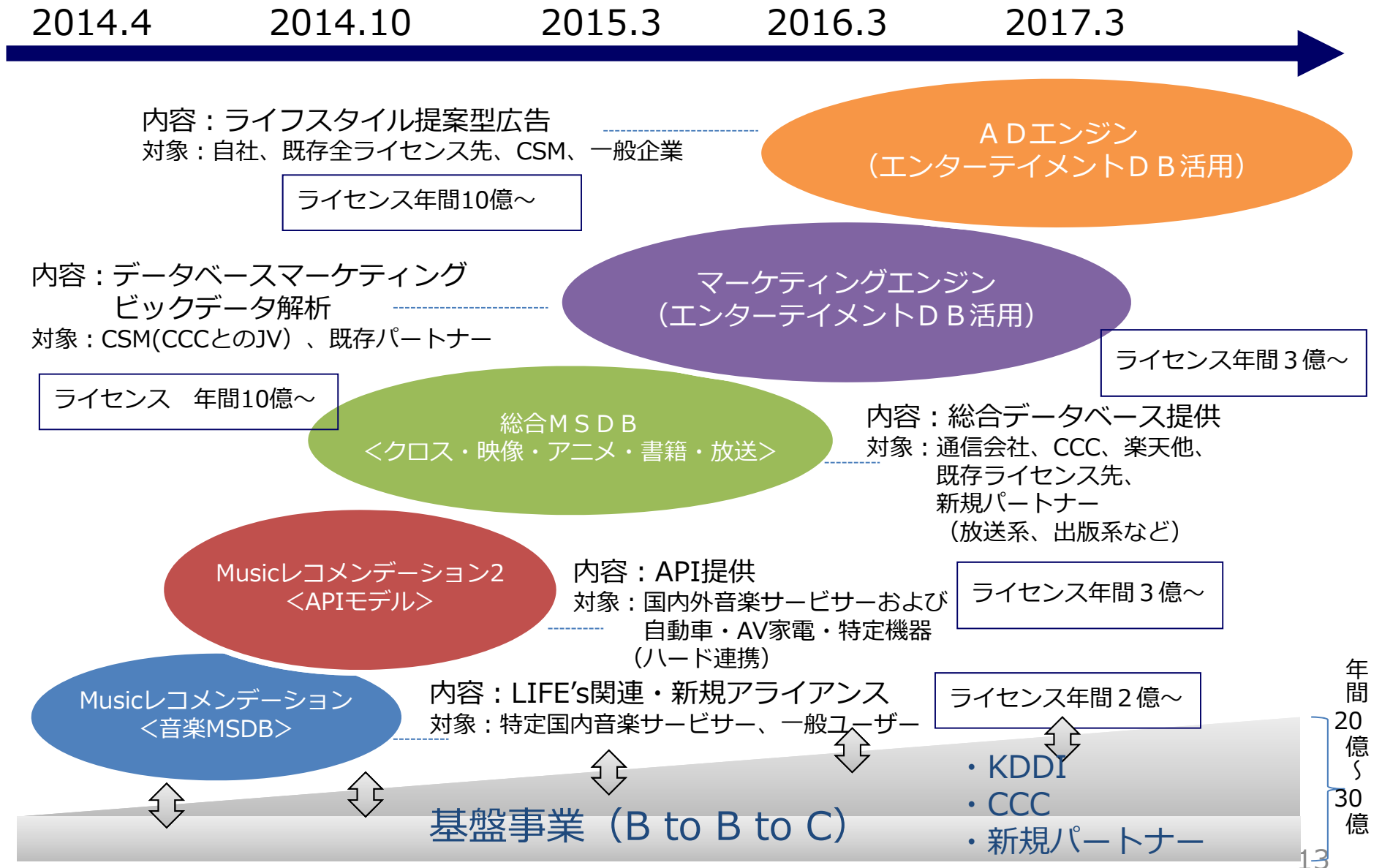


## ② 今期以降の計画について 今期の売上計画

(単位：百万円)  
売上高



## ② 今期以降の計画について 中期の全体戦略



## ② 今期以降の計画について 今期以降におけるリスクについて

### < 追加対策 >

- 一部の開発費用の引当金
- ソフトウェアの減損

### < 効果 >

- 今期以降の営業利益にプラス
- データベース事業の強化
  - 将来の運用コスト抑制
  - 開発費前期手当済
  - 減価償却費負担の軽減

### < 今期方針 >

- 企画営業強化  
将来のトップラインを伸ばす  
ライセンス型ビジネスへシフト
- 自社プロパティを中心とした  
開発管理の徹底  
収益発生時のリニアな利益貢献

### < リスク >

- 企画営業稼働による販管費の増加
- 運用コストの一時的な増加
- R & D費用の増加

上記について適時モニタリング  
を行って参ります

ソケットは、『データベース・サービスカンパニーです』

データベースで文化をつなぎ、気持ちをつなぎ、毎日の生活に役に立つ



※本資料における予想数値は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

お問い合わせ先：  
株式会社ソケット  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目1番12号  
担当：経営企画管理本部  
Tel：03-5785-5518 Fax：03-5785-5517  
E-mail：ir@sockets.co.jp